

issue+design代表 篠裕介

佐川町クリエイティブディレクター就任

高知県佐川町が委嘱へ

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに社会課題をデザインの持つ美と共感の力で解決するissue+designの代表を務める篠裕介が、高知県佐川町からの委嘱で「佐川町クリエイティブディレクター」平成27年9月25日に就任いたしましたことをご報告いたします。

| 経緯と概要 |

高知県佐川町が、佐川町の資源や魅力をデザインの視点で見つめなおし、磨きをかけることにより、新たな魅力と活力を創出し、さらにはデザインの力で様々な行政課題を解決し、しあわせなまちづくりを推進するための先導役を設置することを目的として設けた「佐川町クリエイティブディレクター」に、issue+design代表の篠裕介が就任いたしましたことをご報告いたします。



「佐川町クリエイティブディレクター」は、高知県佐川町の未来ビジョンづくり、産業振興から、地域ブランド構築、情報発信まで、佐川町のまちづくり全般に関するトータルディレクションに必要な専門的知識を有するものとして、町長から委嘱を受ける形で就任いたしました。

全国各地で展開している様々なプロジェクトを通じて培った経験やネットワーク、専門知識を駆使し、これからも高知県佐川町の活性化に貢献したいと考えております。

| プロフィール |

篠裕介

1975年生まれ、東京大学大学院工学系研究科修了（工学博士）。1998年株式会社博報堂入社。2008年issue+designを設立。以降、東日本震災支援ツール「できますゼッケン」、人々との出会いを楽しむ旅のガイド「Community Travel Guide」など、ソーシャルデザイン領域の研究、実践に取り組む。著書に『人口減少×デザイン』『ソーシャルデザイン実践ガイド』『人口減少×デザイン』などがある。グッドデザイン・フロンティアデザイン賞、竹尾デザイン賞、カンヌライオンズ（仏）、深圳デザイン賞（中国）他多数受賞。

| 問い合わせ先 |

issue+design：広報小菅

TEL：03-6441-7752 E-Mail :info@issueplusdesign.jp HP : <http://issueplusdesign.jp>

参考 | 全国各地で展開している様々なプロジェクト例

主な地域活性化関連プロジェクト



高知県佐川町 *6

みんなでつくる総合計画



高知県佐川町 *6

さかわものづくり大学



住民、行政、職員一体で、地域の10年後を描き、幸せな町実現のためのアクションを考える、第五次総合振興計画策定プロジェクト。

自伐型林業で切り出した木材を活用し、リサーチ・デザイン・デジタル技術を学んだ子どもから大人まで、町民が新商品や事業開発に夢中になる知の創発拠点。

富山県氷見市 *2

魚食観光都市



長年受け継がれた地域の、日本の魚食と漁村文化を守り、世界に発信します。北陸新幹線と東京五輪を機に、日本食に关心を持つ世界中の人が集まる「魚食観光都市」を目指す。

和歌山県新宮市 *4

女性視点観光ガイドブック



人に着目した観光ガイドブック、Community Travel Guide シリーズを新宮で暮らす女性メンバーの力で作り、女性ならではの視点で地域の資源と人材を観光コンテンツ化する。

北海道沙流郡日高町 *1

COLD HIDAKA



冬の観光コンテンツが不足しがちな北海道内陸部の極寒自治体。その寒さと雪を楽しみ尽くし、競い合う心と体が暖まる冬の観光目玉づくりプロジェクト。

岐阜県御嵩町 *3

ローカル鉄道の活性化



町の東西を走る名鉄広見線。乗降客数が実下している市民の足、鉄道を守るために、子どもと家族が鉄道を楽しみ尽くせる町を実現し、集客を目指す。

神戸市北区 *5

移住・定住促進



大繁華街・三宮から 30 分で、茅葺き屋根・棚田が広がり、豊かな農村生活ができる神戸市北区エリア。エリアの暮らしの魅力を発掘し、情報発信し、移住・定住につなげる。

社会の課題に、市民の創造力を。
issue + design